

ページ	項目	意見	事務局の対応(案)
120	《財政の現状》の6行目	「渡る」について、ここでは辞書的には「亘る」あるいは「わたる」が妥当である。	ご指摘のように修正します。
120	《行政サービスの転換と改革の取り組み》の6行目	「歳入の伸びが…」から10行目までは、文章を整理して続けたほうがわかりやすい。	分かりやすい表現を検討します。
120	《行政サービスの転換と改革の取り組み》	「計画の実現に向けて」の項は、言うまでもなく前段の「基本計画策定にあたっての前提」を前提にすることが必要である。このことから、120p「行政サービスの転換と改革の取り組み」および「121p取り組みの方向性」に4pの「市民主体のまちづくり」の趣旨や文言をより明確に示すことが大切と考える。	「基本計画策定にあたっての前提」と「計画の実現に向けて」は「市民主体のまちづくり」に関する記述と「行財政運営」についての記述という区分をしており、ワンセットのものと考えています。ただし、記載場所が離れているため、ご指摘にあるように、文章の中での工夫を検討します。
121	《取り組みの方向性》		
121	上段の「◆こんな取り組みを行います」の2点目	「土地利用」は内容が良くわからない。具定例をあげられないか。	「土地利用」の文言は「用途地域」の趣旨で使用しています。ご指摘のように、わかりにくいため具定例を入れた表現を検討します。
121	「2 経営と協働の視点に立った行財政運営」	取り組みとして市民主体の活動の事例があると良い。	市民主体の活動事例を入れた表現を検討します。
121	下段の「◆こんな取り組みを行います」の4点目	「契約」は、例えば「市が発注する」あるいは「市を当事者とする」などの説明があったほうがわかりやすい。	ご指摘のように修正します。
125	《今後5年間の財政見通しの概要説明と課題》の8行目及び(2)市債	8行目以下の説明と(2)市債の説明が合致しないように思う。	歳入における市債と歳出における公債費についての記述です。公債費の繰り上げ償還などを行うとともに、歳入としての市債を一定額に抑えることにより、歳出における公債費額は今後減少していきます。このことが分かりにくいため、表現方法を工夫します。
126	(1)人件費	説明だけでなく人件費削減の方向を示すことができないか。	ここでは、今後の見通しとして人件費の傾向を記載しています。具体的な削減の方向は、別途策定する(仮称)経営改革推進計画等の中に盛り込むことを検討しています。
127	《大きな財源を伴う施設整備等》	施設だけでなく、今後大幅に増える見込みのソフト事業も入れた方が良い。	現行の基本計画と同様に、IT化関連経費などソフト事業を記載する予定です。なお、経常経費の増分等については、財政の見通しの中で見込むこととし、一覧としてまとめることはしない考えです。